

産地や生産者への評価が高まっています

市場からの声

横浜丸中青果株式会社 営業第4部 高橋 慎也 担当課長

7月20日(木) ネギ目揃え会での高橋課長▼



「大雨によって実害を受けた生産者の方がいるなかで、その後の高温、干ばつの影響もあり他産地においても出荷量が回復しないところ、皆様の栽培技術やご努力のおかげで計画出荷量を維持できたことや、下等級の出荷をいち早く決断していただいたことによって、単価の底上げができたことが、販売終了まで単価を維持できた大きな要因だ

と思います。過去2年間の栽培環境は厳しく、本年度も暖冬傾向から雪解けが早い現状からすると昨年に近いような状況が予想されるなか、JA秋田なまはげ管内の皆様には生産量の維持、拡大とさらなる品質の向上を期待しておりますので、令和6年度も厳しい栽培環境が予想されますが、何卒よろしく願いいたします」

中央地区園芸戦略対策協議会 優秀生産者表彰

あきた園芸戦略対策協議会の中央地区における優秀生産者表彰において、ネギ部門で管内の生産者3名が入賞しました。同表彰は品目ごとに生産規模や収量、販売額などの実績から生産者が選抜され、選考会を経て各賞が決定するもので、管内のネギ生産者の栽培技術の高さが評価されました。2月20日(火)に行われたJAグループ秋田「秋田の園芸を未来へ! 園芸事業キックオフ大会」で表彰式が行われ、最優秀賞の安田源一郎さんが表彰状を受け取りました。

審査結果※敬称略

最優秀賞 安田 源一郎 (潟上市天王)

奨励賞 農事組合法人アグリあいかわ (秋田市雄和)
今 健志 (潟上市天王)



令和6年度に向けた取り組み

令和6年度生産者個別相談会

生産者と営農センターをはじめ、担い手支援室、秋田地域振興局農業振興普及課、JA全農あきたを交えて、作付け相談会を実施しました。令和5年度の栽培経過や単収などの実績を整理しながら、令和6年度の営農計画を話し合いました。

立毛品評会

以前に行った立毛品評会を今年も開催します。審査の結果上位となった優秀生産者を表彰するとともに、評価を生産者にフィードバックします。



▲令和4年度の審査の様子



オリジナル袋ネギ

令和5年度から始めた袋ネギは、県内外に3.3トンを試験出荷しました。この結果、好評を得たため、農業所得の向上の一助となるように令和6年度も継続します。

2月21日(水)

ネギ苗を育苗するハウス内の様子(潟上市天王)
3月から定植し、7月に出荷が始まる予定です。

